

## 北栄町まちづくりビジョン

### 人と自然が共生し 確かな豊かさを実感するまち

#### これまでの環境への取り組み

- ・ 再生可能エネルギーの導入・補助金  
（風力、太陽光、木質バイオマス）
- ・ 電気自動車急速充電器の設置
- ・ 環境家計簿の記帳  
→現在は「かんきょうチェックノート」（小学生）
- ・ クリーン作戦（自治会）
- ・ 再生資源回収報奨金制度（自治会、子ども会など）
- ・ こどもエコクラブ活動（こども園、小中学校など）
- ・ 「古い冷蔵庫を探せ！」コンテスト（平成27年度）
- ・ 令和元年（2019年）12月20日  
「気候非常事態宣言」



北条小学校の太陽光発電

2050年までに町内におけるゼロカーボン  
（人為起源のCO2排出実質ゼロ）を目指  
します。



# 北条砂丘風力発電所15年の歩み

問：環境エネルギー課 ☎37-3116

北条砂丘風力発電所は、令和2年11月で運転開始から丸15年を迎えます。風車の耐用年数（17年）まであと2年、固定価格買取制度（FIT）による電力の買取期限（令和8年3月）まであと5年半となりました。この15年間の風力発電事業の効果などについて、お知らせします。



## 施設の概要

事業費	約27億4千万円 補助金：約7億2千万円 起債：約20億2千万円
竣工	平成17年11月
施設概要	1,500kW×9基

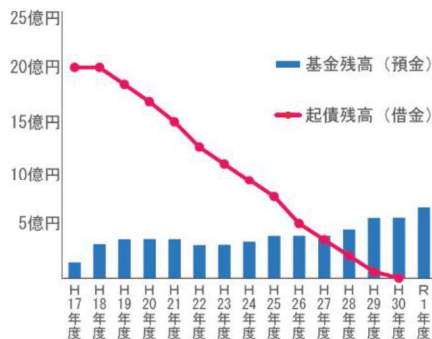
風力発電事業は、①再生可能エネルギーである「風」を利用した環境負荷の少ない発電で地球温暖化を防止し、②エネルギーの地産地消を進めること、③町の環境政策のシンボルとして町民の皆さんに環境問題を考えていただくきっかけにすること、④民間や他の自治体のモデル事業となること、⑤町の独自財源を充実することを目的に行ってきました。

## 借金と預金

**4億円を町に還元！**

風力発電事業の起債（借金）の返済は平成30年度で終了しました。この風力発電事業は、全く税金を使わず、電力を販売したお金で運営していて、基金（預金）は令和元年度末で6億7千万円に上ります。（風車を撤去するのために預金しています。）

事業の成果として、毎年約5,400世帯分の電気を発電し、平成25年度からは、得られた収益の一部を「風のまちづくり事業」として毎年約5千万円、総額で4億円以上を環境政策などで町民の皆さんに還元することができました。



## 風のまちづくり事業

風力発電事業の収益の一部を活用して行ってきた「風のまちづくり事業」の一部をご紹介します。

- 自治会公民館太陽光発電設備への補助金  
16自治会が行った公民館への太陽光発電設備設置の補助金 2,000万円
- LED防犯灯整備  
自治会や町が管理している町内にある防犯灯をLEDに変更 8,300万円
- 家庭用太陽光発電設備等への補助金  
家庭用太陽光発電設備や蓄電池、薪ストーブなどの設置へ補助金 1,600万円
- 住宅省エネルギー改修補助金  
断熱材や窓改修など住宅省エネルギー改修への補助金 2,400万円
- 小中学校など公共施設の再エネ・省エネ化  
小中学校などのLED化や公共施設への再生可能エネルギー設備導入 1億4,700万円



自治会公民館の太陽光発電設備に補助金

## 風車のメリット・デメリット

メリット	デメリット
町民の環境意識の向上 CO2の削減 (年間約5,400世帯分を発電) 町の独自財源の確保 (4億円以上を風のまちづくり事業に活用)	景観への影響 風車の影 騒音の発生



北条町の風車の騒音レベルは、風車から約100mの地点で55デシベル（H18年測定、普通の会話に相当する音）でした。また、350m地点の測定では、風車を停止している状態と風車を運転している状態の差は3デシベルでした。

また、低周波音（人間にはほとんど聞こえない超低周波音を含む低い周波数の音）については、環境省において国内外の研究を整理した結果、低周波音と健康影響について、明らかな関連を示す知見は確認されていません。







# 「脱炭素ロードマップ」のページができました

北栄町  
Hokuei Town

English 한국어 中文简体字 中文繁体字 Русский язык

文字拡大 拡大方法の説明 サイトマップ フォットの使い方

住居費の管理 検索

ホーム くらしの情報 観光ガイド 仕事・産業 まちの情報

ホーム > 町の組織 > 環境エネルギー課 > 脱炭素ロードマップ

環境エネルギー課

- 環境エネルギー課の紹介
- 環境エネルギー課からのお知らせ
- プラン・ビジョン
- 環境へのとりくみ
- 環境
- 環境審議会
- ごみ・リサイクル・不法投棄・し尿・廃棄物
- ペット、動物愛護等
- 動物(猫・鳥など)の死傷を見つけた場合の対応について
- 墓地、埋葬等に関する法律に基づく届出
- 町営住宅・県営住宅
- 北栄町立風力発電所
- バイオマス産業都市
- 新緑は「環境にやさしい」だけじゃない
- 新電力事業
- 脱炭素ロードマップ

脱炭素ロードマップ

北栄町は2019年に「気候非零炭素宣言」を表明し、政府は2020年に2050年のゼロカーボン達成（CO2排出を実質ゼロにする）を決め、2021年に法律に盛り込みました。

北栄町は今年度、2050年までにゼロカーボンを実現するための計画づくりに集中的に取り組みます。計画づくりでは、町民アンケートを実施したり、現状や将来の様々なデータを知っていただいたり、専門家の意見を聞く機会を設けたりし、町民の皆さんと一緒に話し合いを兼ね、皆さんのご意見やアイデアを活かしていきます。

30年後の北栄町の計画づくりにご協力をお願いします。

2030年 温室効果ガス削減目標(2013年対比)  
国 ▲46% 高取県 ▲60%

2040年 北栄町の目標  
2050年 ゼロカーボン

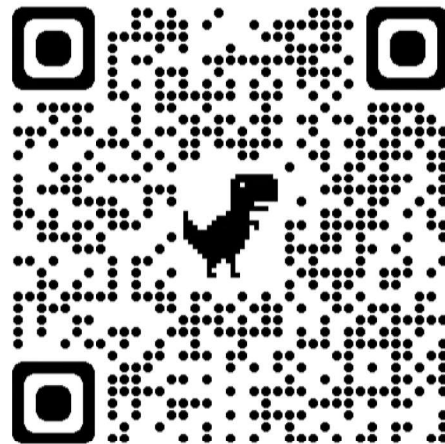
これまでの北栄町の取り組み

- 北栄町立風力発電所
- バイオマス産業都市
- 気候非零炭素宣言
- 新緑の取り組み

脱炭素ロードマップ策定に関わる取り組み

脱炭素経営セミナー（詳細はこちら）

脱炭素経営セミナー



随時情報を更新して  
いきます。

町民アンケート、  
ほくえい未来トーク  
の様子などもお知らせ  
せします！





# 脱炭素ロードマップ 町民アンケート結果

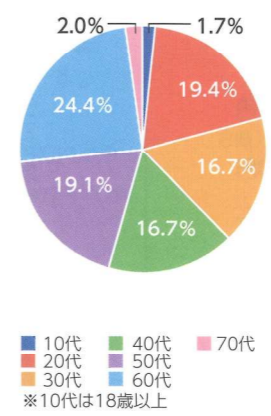
■アンケート実施期間 8月5日～8月18日  
回答数 306(送付総数986) 回収率 31%

ECO(エコ)フューチャーとっとりは、脱炭素社会の実現に向けて鳥取県内外の団体等と連携して地球温暖化対策の活動を支援してまいります。



山本ルリコさん

## ●年齢



6割を超える人が自身の行動で気候変動問題が改善できると思う一方、改善できないと思う人は約3割でした。(山本) どんな行動をしたら改善できるのか、迷っている人がいらっしやるのだと思います。職場や家庭で省エネをしたり再エネを導入したりすることでも大切なのですが、まずは周りの人と脱炭素社会ってどんな社会なのだろうね、と話し合うことから始めるのはどうでしょうか？

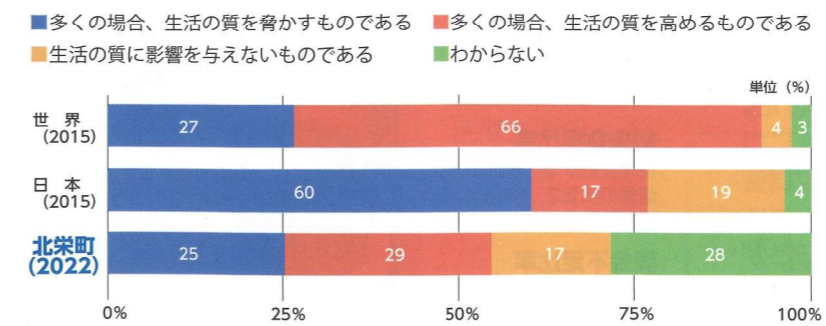
## ●気候変動対策(省エネ対策や再エネ導入など)は、どのようなものと考えていますか

気候変動対策が生活の質を高めるものと回答した人が、僅差で生活の質を脅かすものと回答した人を上回りました。わからないとした人は約3割ありました。

グラフは、2015年に世界、日本で行われた同様の質問(World Wide Views on Climate and Energy調査)の結果と比較したものです。

(山本) 世界では、気候変動対策は公共交通を充実させたり、再生可能エネルギーで地域の経済活性化を促したり、省エネ住宅の補助金を拡充するなど、生活の質を向上させる(赤色の部分)と認識されていますが、日本(2段階目)では、逆に我慢や経済的負担だ

## 気候変動対策(省エネ対策や再エネ導入など)は、どのようなものと考えていますか。

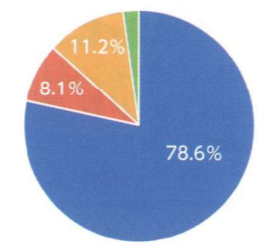


と認識されていることが多いようです。生活の質を高めるもの(赤色)の割合を見ると、北栄町は世界ほどではないですが日本全体の約1.7倍も前向きにとらえる人が多いことが分かります。かねてからの環境にやさしい取り組みを実施し、風力発電による売電収入が、再エネ・省エネ補助金などに還元され、恩恵を得る人が多いからだと考えられます。

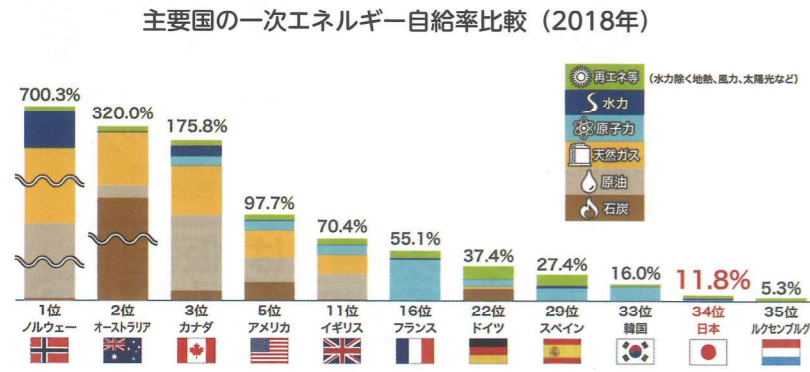
今年度、北栄町は地球温暖化の原因となっている二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の実質的な排出ゼロ(脱炭素)を目指す「2050年ゼロカーボン」を実現するため、北栄町に合った省エネ対策、再生可能エネルギーの導入や有効活用等を具体化し、地域課題の解決にもつながる脱炭素ロードマップ(計画を時系列でまとめた図や表)を作ります。

この計画に町民の皆さんのご意見を反映させるために、8月に行ったアンケートの中から、いくつかピックアップしてご紹介します。結果について、計画作りをサポートしてもらっているECO(エコ)フューチャーと通りの山本ルリコさんにコメントをいただきました。

## ●日本で消費されるエネルギーの多くが海外からの輸入に頼っている現状(解説図)についてどう思いますか?



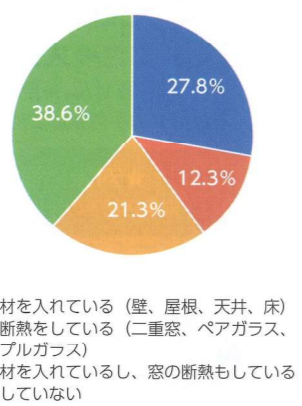
## ●主要国の一次エネルギー自給率比較(2018年)



出典:IEA「World Energy Balances 2019」の2018年推計値。日本のみ資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」の2018年度確報値。※表内の順位はOECD35カ国中の順位。

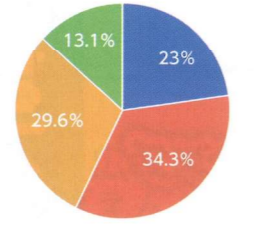
約8割の人がエネルギーの自給率を高めるべきと回答しています。(山本) 今般、エネルギー危機対策であることが認識されつつあります。その背景には、再エネを取り巻く状況が、1~2年前とは比べ物にならないほどに更新され、エネルギーは自分で作って自分で使うのが一番安全で経済的な時代になってきたことにあります。東京などエネルギー大量消費の地域では難しくても、北栄町であれば自給率100%も夢ではないと思います。

## ●ご自宅の省エネ対策をしていますか?(1つ)



断熱材や窓への省エネ対策をしている人が約6割、何もしていない人が約4割でした。建築年代が古い人は何もしていないと回答した割合が多かったです。

## ●電気自動車の導入について当てはまるものを選択してください(1つ)



電気自動車を購入したい人は約2割で、購入費用や走行距離に課題を感じるため購入したくない人が約7割でした。(山本) ガソリン代は今後も高止まりはあっても安くなることは無いと予測されていること、脱炭素の大きな解決手段が電気自動車化であることから考えても、電気自動車のメリットをもう少し知ってもらう機会があってもいいかもしれません。

## ●疑問や提案

「北栄町独自の環境として、観光・エネルギー等トータルにとらえ、砂丘を役立てたらと思う。」と提案をいただきました。(山本) 北栄町の様々な特色を活かして、町民のみならず一緒に考えながら脱炭素ロードマップを作ることが大切ですね。

環境エネルギー課 地域エネルギー推進室  
〒311-637

### 脱炭素ロードマップ関連情報

- ◆ 8月30日(火) 脱炭素経営セミナー
- ◆ 10月2日(日) ほくえい未来トーク2022(第1回)
- ◆ 29日(土) ほくえい未来トーク2022(第2回)
- ◆ 11月24日(木) 脱炭素経営実践研修会

※詳しくは町ホームページへ(アンケート結果もこちらから)